

広がるSDGs学習の輪

～京都丹波スマート環境学習～



尾迫 悠



SDGsを活用した地域学習が、2018年10月から12月にかけて、京都丹波地域でも行われました。一般募集で集まった小学生たちが、アイデアを出しあって自分が学びたい環境学習のテーマを決めた後、現地調査やゲーム、意見交換などを行い、SDGs達成のために自分たちができることをまとめていきました。

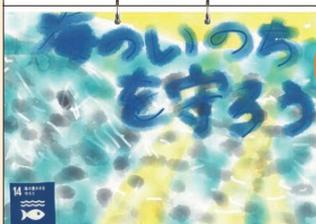
最後には、そのアイデアが詰まった2019年のカレンダーと、いつまでも使える日めくりカレンダーが完成!そして、すっかりSDGs博士になりました。
主催:京都市府南丹波健康所環境衛生室
協力:京都大学ほか



谷口 功真



佐伯 佳乃



SDGs日めくりカレンダー
このカレンダーは、SDGsをテーマに実施した京都丹波スマート環境学習において、参加者が学習成果を発表するために作成した行動目標を、日めくりカレンダーにまとめたものです。

<参考>京都丹波スマート環境学習

プログラム	概要
子ども環境会議 (2018.10.4)	ワークショップ形式で子どもたちの自由な発想やアイデアを引き出し、環境を切り口にSDGsについて学習・意見交換
第1回プログラム (2018.11.4)	雪印メグミルク(株)京都工場、かぶさきの里、(株)京都環境保全公社等で企業や人間活動とSDGsとの関わりについて現地調査
第2回プログラム (2018.11.18)	SDGsカルタを通じて理解を深め、タブレットを用いて意見交換・共有しながら、学習成果をとりまとめ
第3回プログラム (2018.12.16)	学習成果を自らの行動宣言として、参加者一人ひとりが発表



丸山 椋子



びっくりエコ発電所活動レポート



京都市市民協働発電の取組として、一般社団法人びっくりエコ発電所では5ヵ所の施設で行っています。予測発電量に対して、9月以外は大きく上回っており、2月段階で年間予測発電量を上回りました。引き続き、施設の発電状況をモニタリングし、事業の安定的な運用をまいります。

supported by

祇園祭創始1150年記念プロジェクト

こんちきぎぎ

～祇園祭の学術的持続可能性。SDGsの先へ～

http://eco.kyoto-u.ac.jp/konchikigis

360°とれるカメラ RICOH THETA

モニター募集のお知らせ

【対象】 小学生から高校生までの3人以上のグループ(学校のクラスやクラブ、それ以外のグループや仲間、任意団体など)
【貸与時期】 2か月以内(①5-6月、②7-8月、③9-10月のうちいずれかの期間)
【募集数】 ①～③につき3グループずつ
【モニター内容】 次の撮影テーマに沿って撮影し、簡単なエピソードを添えて10作品程度を提出していただきます。作品は新聞で掲載し、最優秀グループには本カメラを贈ります。
【撮影テーマ】 [A] 祇園祭(祭自体だけでなく、関連するものであれば何でもよい)および/もしくは[B] これから先も持続してほしいもの
 ※応募方法は下記!

【対象】 どなたでも結構です。【応募方法】 ①キャッチフレーズ(10～20字程度) ②それを表現した絵 ③アイデアの説明(100字以内)をハガキやメールでお送りください。
【締切】 2019年9月30日 【申込・問合せ】 びっくりエコ新聞事務局(下記参照)

応募については、次の発行事務局までお送りください。

宛先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学地球環境学堂 浅利研究室
 びっくり!エコ新聞事務局 Mail: ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp

<モニター応募方法>
 ①グループ名(代表者名) ②所属(学校名や団体名) ③住所 ④連絡先電話番号
 ⑤できればPCのメールアドレス ⑥「モニター希望」を明記して往復ハガキで上記宛先にお申し込みください。
【締切】 2019年4月25日必着 ※なお、これらの情報は本件に関する連絡以外では用いません